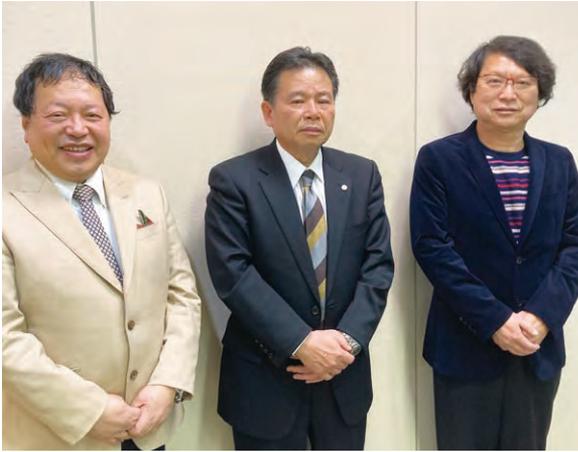


エンジニアリング会社の社長が語るシニア世代の専門家集団への信頼



赤木雄さん(左)、長尾丈男社長(中央)、中山勝義さん(右)

シニア世代の専門家集団にM&A支援を受けた企業とは

泰榮エンジニアリング株式会社(東京都千代田区)は、1996年の創業以来長年にわたって、日本のエネルギー供給の根幹をなす発電プラントの設計を担ってきたエンジニアリング会社です。技術力と創造性の絶えざるブラッシュアップに努めながら、事業の多角化を図る長尾社長は「地球環境の変化や、エネルギー政策の影響を受けやすい発電プラントだけではなく、今後の産業の多角化をなすIT事業分野への多角化は、当社にとっても積年の課題であり、IT企業のM&Aの位置付けはとも大

きなものがありません」と自らの経営戦略を紹介してくれました。

M&Aの支援先であるANパートナーズへの厚い信頼

以前のM&Aでは大手コンサルティング会社に仲介を依頼した長尾社長でしたが、昨年春に実行したM&Aでは、仲介業者として、先月号で紹介したシニア世代の専門家集団であるANパートナーズ(東京都中央区)を選ばれました。その狙いを長尾社長はこのように語ってくれました。「赤木さんは、20年以上M&Aを当事者の立場で実行してきた専門家です。長年の実践経験と、最後まで寄り添ってくれるスタンスに私は全幅の信頼を置きました」

また、これも先月号で紹介した被買収側社員のネガティブ感情を払拭するため、中山さんが企画・制作した「買収側社員による歓迎メッセージビデオ」について、長尾社長は「このような形で、相手の従業員を歓迎するものなんだと、そのアイデアに感動しました。今回のM&Aがスムーズに進んだのは、ビデオをきっかけにして両社従業員の「感情の統合」ができたからこそです」と明るく続けてくれました。

自社のシニア社員への思いは

長尾社長は自社のシニア社員に対する

思いも披露してくれました。「これまで蓄積してきた貴重な経験を後進世代に繋いで欲しいと願っています。事業を多角化していくうえでも、一人一人の経験は何物にも替え難い財産です。同時に、赤木さんや中山さんのように、ベンチャー精神を発揮して、新規事業や起業にも挑戦して欲しいと期待をしています。年齢だけで老け込むのではなく、また、後進サポートという立場もわきまえることで、世代間の相互協力が進めばいいですね」と笑顔で語ってくれました。

池口武志(いけぐち・たけし)

一般社団法人定年後研究所 理事長

1963年生まれ。1986年日本生命保険相互会社入社。現在、株式会社星和ビジネスリンク取締役常務執行役員、キャリアコンサルタント(国家資格)としても活動中。著書として『定年NEXT』『人生の頂点は定年後』がある。



一般社団法人定年後研究所

人生100年時代の中で、中高年社員のセカンドキャリアの充実に向けた調査活動を展開中。定年前後からの自走人生にチャレンジする会社員と、それをサポートする企業を応援。当記事へのご意見ご感想を、ポータルサイト <https://www.teinengo-lab.or.jp>「お問合せ」にお寄せください。

当ページのバックナンバーは、上記サイトをご覧ください。